

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	アスベスト飛散防止総合対策費	担当部局	水・大気環境局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成10年	担当課室	大気環境課	大気環境課長 山本 光昭			
会計区分	一般会計	施策名	3-1 大気環境の保全(酸性雨・黄砂対策を含む)				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	「石綿による健康被害の救済に関する法律案及び石綿による健康等に係る被害の防止のための大気汚染防止法等の一部を改正する法律案に対する付帯決議」	関係する計画、通知等	環境基本計画 アスベスト問題に係る総合対策(「アスベスト問題に関する関係閣僚会合」決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	肺の中に入ると、肺がんや悪性中皮腫等の疾病を引き起こすおそれのあるアスベストによる、国民の健康被害の未然防止のための対策を推進する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	環境大気中におけるアスベストのモニタリングについて、全国でモニタリングを実施し、アスベストによる大気汚染の状況を把握する。また、日本がこれまで培ってきた技術や対策等の経験を活かして、各国におけるアスベスト対策の施策展開を支援し、国際貢献を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	58	54	49	46	34
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	58	54	49	46	34
	執行額	43	45	31			
	執行率(%)	74.1%	83.3%	63.3%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	アスベスト大気濃度が暫定基準値:10[f/l]を下回った地点数	成果実績	地点	141	161	整理中	-
		達成度	%	99.3%	99.4%	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	アスベスト大気濃度調査実施地点数	活動実績 (当初見込み)	地点	142	162	整理中	-
				-	-	-	(142地点) 被災地を除く
単位当たりコスト	112,032(円/地点)	算出根拠	平成22年度のモニタリング業務の契約総額(※)/モニタリング地点数(※)検討会等費用含む、被災地を除く				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	1	1				
	政府開発援助 環境保全調査費	9	8	対象国までの旅費の精査を行うなど、必要最低限の要求とした			
	環境保全調査費	31	26	モニタリング手法・排出抑制対策の検討を終了するなど、必要最低限の要求とした			
	環境保全調査等 地方公共団体委託費	5	0	事業の終了			
	計	46	34				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	飛散した石綿を住民などが吸入することで健康障害を引き起こす可能性があり、訴訟が起こるなど石綿については国民も大きな関心をもっている。国としては、アスベスト問題に係る総合対策(平成17年12月27日アスベスト問題に関する関係閣僚による会合)に基づき、国民の有する不安への対応のため、大気環境中のアスベスト濃度測定を実施する必要がある。不用率が大きいのは入札の結果、企業努力により落札金額が下げられたためである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先は入札の上決定しており競争性は確保されている。単位当たりコストの削減には努めているが分析費の占める割合が高いことから削減は困難である。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	現状を把握するためにはモニタリングを行う必要がある。成果目標に対し実績で99%達成しておりほぼ見込みどおり行われている。得られた結果をHPで公表し情報提供を行うとともに、必要な対策について検討する基礎資料として役立っている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	環境大気中のアスベストの現状を把握することは、国民の関心も高く国民の健康を守るために重要な事項である。コストの多くを分析費が占めることから削減は困難であるが、成果目標を99%以上達成しており、また得られた結果についても有効に活用していることから無駄は無い。今後も引き続き本活動が続ける必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業内容の重点化を図るとともに執行実績を踏まえて概算要求額の縮減に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	モニタリング手法の検討、排出抑制対策の検討を終了する等、必要最低限の要求とした。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	034

※平成23年度実績を記入

環境省 31百万円

アスベストによる国民の健康被害の未然防止を推進する。

①アスベスト濃度モニタリング事業

【一般競争】

A. (株)日新環境調査センター 11百万円

アスベストの大気濃度調査に関する検討会の実施及び測定手法の検討等を行う。

【一般競争】

B. (株)日新環境調査センター 7百万円

アスベストの大気中の濃度測定を実施する。

【一般競争】

C. (株)日新環境調査センター 1百万円

アスベストの大気濃度調査結果を分析走査電子顕微鏡法により確認を行う。

②アスベスト飛散防止対策調査事業

【一般競争】

D. (株)ノルド 1百万円

特定粉じん排出等作業におけるアスベスト飛散防止対策の検討を行う。

【随意契約】

E. (社)日本石綿協会 1百万円

「災害時における石綿飛散防止に係る取扱いマニュアル」をパンフレットにまとめる。

③アスベスト飛散防止総合対策委託費

【随意契約】

F. さいたま市 2百万円

モデル自治体を選定し、特定粉じん排出等作業の作業実態などを把握するため悉皆調査を実施する。

【随意契約】

G. 吹田市 2百万円

モデル自治体を選定し、特定粉じん排出等作業の作業実態などを把握するため悉皆調査を実施する。

【一般競争】

H. (株)ノルド 1百万円

モデル事業を円滑に実施するためWGを開催する。

【一般競争】

I. アイテックリサーチ(株) 0百万円

モデル自治体での調査結果を分析走査電子顕微鏡法により確認を行う。
※単価契約を行ったが、対象となる検体が無く作業が生じなかった。

③アジア諸国における石綿対策技術支援事業

【一般競争】

J. (株)ノルド 5百万円

アジア諸国に対して、技術や情報の提供等により石綿対策に関する支援を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載)	A. (株)日新環境調査センター			H.(株)ノルド		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。		11	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。		1
	計		11	計		1
	B. (株)日新環境調査センター			I. アイテックリサーチ(株)		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。		7	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。		0
	計		7	計		0
	C. (株)日新環境調査センター			J. (株)ノルド		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。		1	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。		5
	計		1	計		5
	D. (株)ノルド					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。		1			
	計		1	計		0
	E. (社)日本石綿協会					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。		1			
	計		1	計		0
	F. さいたま市					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	調査等	1.7			
	雑役務費	アスベスト濃度分析	0.1			
	その他	交通費、消耗品費等	0.5			
	計		2.3	計		0
	G. 吹田市					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	調査等	2.0			
	雑役務費	アスベスト濃度分析	0.1			
	その他	交通費、消耗品費等	0.2			
	計		2.3	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日新環境調査センター	アスベストの大気濃度調査に関する検討会の実施及び測定手法の検討等を行う。	11	1	96.9%

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日新環境調査センター	大気中のアスベスト濃度の実測調査を行う。	7	1	58.6%

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日新環境調査センター	分析走査電子顕微鏡法によるアスベスト濃度測定を実施する。	1	7	25.0%

D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ノルド	特定粉じん排出等作業におけるアスベスト飛散防止対策の検討を行う。	1	2	40.9%

E.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)日本石綿協会	「災害時における石綿飛散防止に係る取扱いマニュアル」をパンフレットにまとめる。	1	1	77.4%

F.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	さいたま市	モデル自治体を選定し、特定粉じん排出等作業の作業実態などを把握するため悉皆調査を実施する。	2	随意契約	

G.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	吹田市	モデル自治体を選定し、特定粉じん排出等作業の作業実態などを把握するため悉皆調査を実施する。	2	随意契約	

H.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ノルド	モデル事業を円滑に実施するためWGを開催する。	1	随意契約	99.3%

I.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アイテックリサーチ(株)	モデル自治体での調査結果を分析走査電子顕微鏡法により確認を行う。※単価契約を行ったが、対象となる機体が無く作業が生じなかった。	0		

J.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ノルド	アジア諸国に対して、技術や情報の提供等により石綿対策に関する支援を行う。	5	3	68.0%